
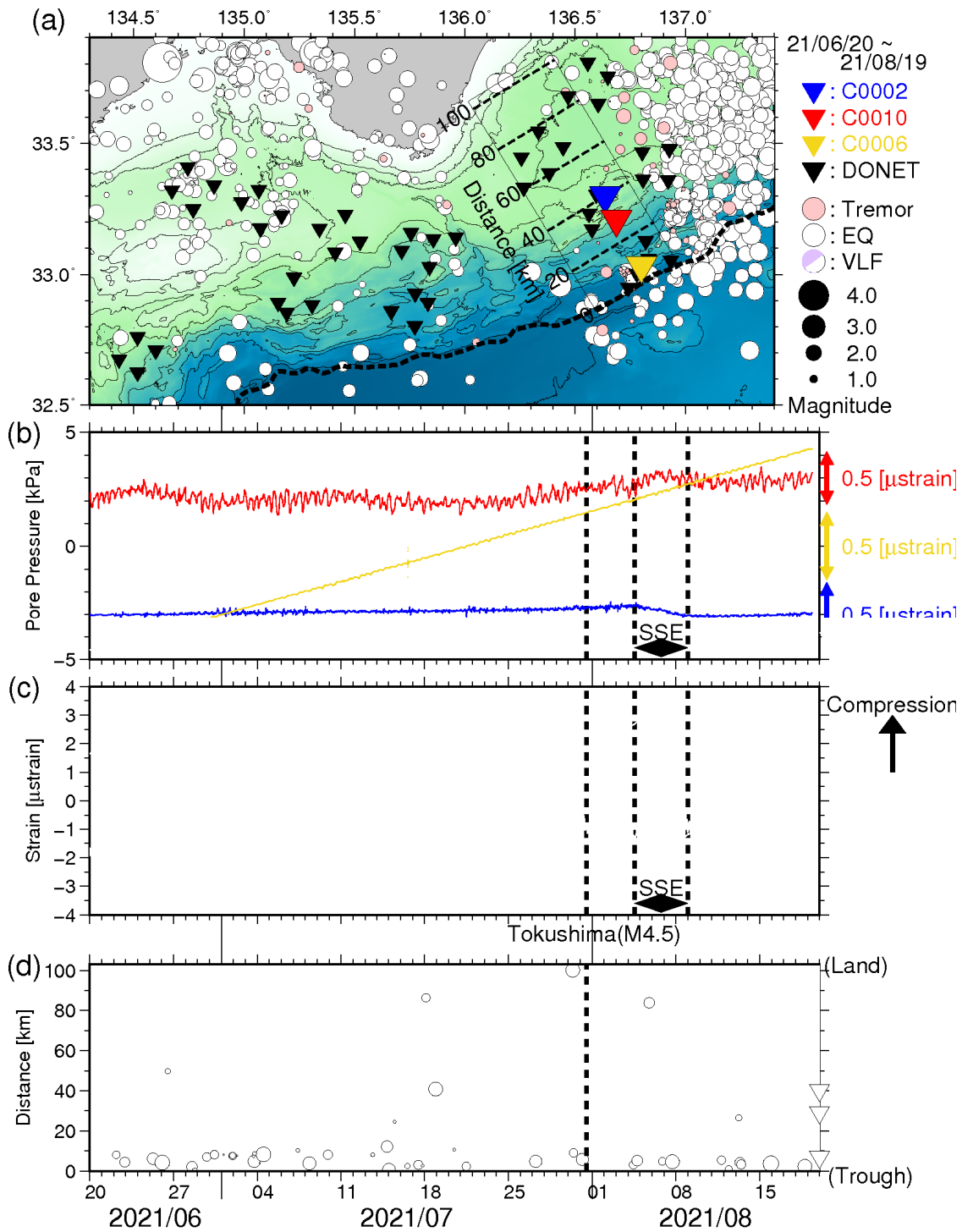


南海トラフ孔内観測で捉えた浅部ゆっくりすべり

2021年8月4日頃から開始したSSEについて (速報)

国立研究開発法人海洋研究開発機構 



海洋研究開発機構では、南海トラフに設置された3点の孔内観測点 (C0002・C0010・C0006 : 図a) とDONET海底観測点によって南海・東南海地震震源域近傍のSSE及び低周波微動のモニタリングを実施している。2021年8月4日頃から数日間、C0002とC0010の2か所でゆっくりとした間隙水圧変動が観測された (図b)。2か所の変動パターンが2020年3月の変動と類似しており (ただし、今回の方が期間が短く、振幅も小さい)、SSEに起因すると考えられる。